

受付番号

H30-021

ドナーの皆様向け情報公開文書・通知文書

研究内容のご説明

ドナー説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	iPS 細胞を用いて拒絶反応の克服を目指す研究 (他家 iPS 細胞由来組織・細胞移植における免疫誘導に関する基盤的研究)
研究期間	承認日 ~ 2026年 3月31日まで
研究機関名	北海道大学 遺伝子病制御研究所
研究責任者氏名・職名	清野研一郎・教授

研究の説明

1 iPS 細胞ストック及びその情報の利用目的及び利用方法

(他機関へ提供される場合はその方法含む。)

(利用目的)

iPS 細胞ストックから作製した治療用細胞を移植するときには、患者さんの免疫が治療用細胞を拒絶してしまうことが問題と考えられています。私達の研究グループは、患者さんの免疫に働きかけることで拒絶を克服することを目標としています。この理念に基づいて、iPS 細胞から免疫を調整できるような細胞を開発することを目的としており、そのために iPS 細胞ストックを利用させていただきたいと考えています。

(利用方法)

iPS 細胞ストックから作製した治療用細胞を移植したときに起きる免疫反応について、培養細胞やマウスを用いた実験によって解析します。また、iPS 細胞ストックから免疫調整細胞を作る方法を研究し、実際に拒絶を克服することができるか検証するために利用します。

2 iPS 細胞研究財団から提供される試料・情報の項目

〔試料〕 iPS 細胞ストック

〔情報〕 ドナーの HLA 情報、感染症検査結果、性別、年代、血液型、
iPS 細胞の HLA 情報、核型検査結果、遺伝子解析結果

3 iPS 細胞ストック等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 ドナー又はその代理人の求めに応じた、iPS 細胞ストックの利用または他の研究機関への提供の停止について

iPS 細胞ストック研究にご協力いただいた場合、iPS 細胞が作製される以前であれば、研究参加に同意いただいた後でも、不利益を受けることなく、文書により同意を撤回することができます。

iPS 細胞が作製された後に同意を撤回される場合、それ以降はあなたの iPS 細胞を外部の研究機関へ提供しません。ただし、その場合でも、これまでに提供した細胞は引き続き使用される可能性があります。また、既に関験が進んでいる場合は、患者さんへの影響を考え、中止することができません。どうかご理解のほどよろしくお願い致します。

5 4のドナー又はその代理人から、同意撤回を受け付ける方法

まずは、下記へご連絡いただき、後ほど同意撤回文書を CiRA_F まで提出ください。

〔お電話の場合〕 iPS ストックドナー専用ダイヤル 075-366-7181

〔メールの場合〕 participant@cira-foundation.or.jp

〔受付時間〕 平日 10:00~17:00

本研究に関する問合せ先

所属	北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫生物分野
担当者	准教授 和田はるか
住所	北海道札幌市北区北15条西7丁目
電話	011-706-5532
Mail	wada@igm.hokudai.ac.jp